国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語方言の呼びかけイントネーション

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 窪薗, 晴夫, 平田, 秀, 溝口, 愛 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003401

T1

日本語方言の呼びかけイントネーション

窪薗 晴夫・平田 秀・溝口 愛（理論・対照研究領域）

伝える・育てる 言葉の未来
国立国語研究所
創立70周年・人間文化研究機構発足10周年

■「呼びかけ文」とは

太郎、やめて！
おばあちゃん、元気？

「呼びかけ文」：人や動物に対して相手の名前などを呼びかける文

■「呼びかけ」の言語類型

ラテン語：Brutus.　（平叙文）
Et tu, Brute!　（呼びかけ文）
韓国語：현수。　（ヒョンス。・平叙文）
현수야！　（ヒョンスヤ！・呼びかけ文）

呼びかけ文と平叙文が形態的に区別される言語

英語：Brutus. ／ You, too, Brutus!
Shane! Come back!
日本語：（昔）モスラや（い）！　太郎よ！
（現在）呼びかけ：太郎！
平叙文：（これは）太郎。
疑問文：（これは）太郎？

呼びかけ文と平叙文が形態的に区別されない言語

■ 目的・着眼点

・日本語では呼びかけ文と平叙文・疑問文が韻律的にどう区別されているか？

1. 各方言の呼びかけにいくつのイントネーション型があるか？
2. 名詞の語彙的なアクセント型がどのように変容するか？
3. アクセント型の区別がなくなる中和現象（neutralization）が起こるか？
4. 疑問イントネーションとどのように区別されるか？
5. 諸方言に共通する呼びかけイントネーションの特徴は何か？
6. どこに方言差が現れるか？その方言差は語アクセント体系の違いによって説明できるか？

■ 場面の設定

・相手に懇願する時
・相手に注意する時
・相手を悼む時……
→イントネーションの型（ピッチ上昇・下降の位置と程度）
vs. 強さ、長さ、音質（音色）、声質（voice quality）

■ 東京方言

・固有名詞は音調の下がり目の有無で 2 種に大別される
・呼びかけイントネーションには平叙文の強調形のα型、最終音節が高ピッチを担うβ型、最終音節で下降するγ型の 3 種がある
・アクセントの中和は起こらない
・呼びかけ文のβ型と疑問文はイントネーションが類似

平叙文	呼びかけα	呼びかけβ	呼びかけγ
ナオヤ。	ナオヤ！	ナオヤ！	ナオヤー！
ハルオ。	ハルオ！	ハルオ！	ハルオー！

α型は平叙文の強調・β型は最後が高・γ型は最後が下降

このポスターは国立国語研究所共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」の研究成果です。また、以下の科研費の助成を受けています。26244022・16H06319・17K18502

科研費 KAKENHI

■ 鹿児島方言

・A 型と B 型の対立がある二型アクセント体系
・呼びかけイントネーションには、文末の 2 音節間でピッチ下降が起こる I 型と、文末音節内でピッチ下降が起こる II 型の 2 つがある
・呼びかけ文において、A 型と B 型の中和が起こる
・A 型語：I 型呼びかけイントネーション≒疑問イントネーション
・B 型語：II 型呼びかけイントネーション≒疑問イントネーション

型	平叙文	呼びかけ（I型）	呼びかけ（II型）	疑問文
A型	ナオヤ。	ナオヤ！	ナオヤー！	ナオヤ？
B型	ハルオ。	ハルオ！	ハルオー！	ハルオー？

平叙文にみられた A 型と B 型の対立が呼びかけ文で中和する

■ 甑島手打方言

・鹿児島方言と同様に A 型と B 型の対立がある二型アクセント体系
・鹿児島方言と異なり、長い語で重起伏が生じる
・呼びかけ文で A 型と B 型の中和が起こる（A 型化）
・疑問イントネーション≒呼びかけイントネーション（A 型語彙）

型	平叙文	呼びかけ	疑問文
A型	ナオヤ。	ナオヤ！ ～ナオーヤ！	ナオヤ？ ～ナオヤー？
B型	ハルオ。	ハルオ！ ～ハルーオ！	ハルオー？

A 型と B 型が呼びかけ文で中和する
A 型で平叙文と疑問文が類似の場合あり

■ 小林方言

・アクセント対立のない一型アクセント体系
・呼びかけ文では語末音節で下降が生じる
・アクセントの対立がないため、中和は起こらない
・疑問文には終助詞がつき、呼びかけ文と形態的に区別される

平叙文	呼びかけ	疑問文
ナオヤ。	ナオヤー！	ナオヤカ？
ハルオ。	ハルオー！	ハルオカ？

平叙文で起こらない下降が呼びかけ文で起こる

■ 方言間の異同

	東京方言	鹿児島方言	甑島方言	小林方言
名詞アクセント	多型	二型	二型	一型
固有名詞ア	二型	二型	二型	一型
数える単位	モーラ	音節	モーラ	音節
呼びかけイント型数	3つ（α、β、γ）	2つ（I 型、II 型）	1つ（≒I型）	1つ（II型）
型	Φ、上昇、下降	下降	下降	下降
アクセント中和	なし（？）	あり	あり	–
疑問イント	文末上昇	文末下降	文末下降	文末下降
疑問文との区別	β型酷似	A型＆I型 B型＆II型	A型酷似	（±終助詞）

共通点：
・ピッチ下降
・文末音節内のピッチ下降＝感情移入

相違点：
・イントネーション型数
・中和の有無